授業科目	タウンマネジメント論					単位	2
履　　修	選択	関連資格				ナンバリング	TO31505J
開講年次	3	開講時期	前期	該当DP	DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-2		
担当教員	角谷　尚久						
授業概要	タウンマネジメントに関する基礎的理解を促すとともに、学生の視点から身近なまちづくり（大学の地域交流・貢献）への関心を高める。背景となる地域社会とコミュニティについて解説したうえで、グループワークにて身近な地域での具体の活動テーマについて考察する。講義とグループワークなどの演習形式とを組合わせる。 尚、授業においては視聴覚教材を利用する場合、並びに外部講師による講義を行う場合がある。 本科目は講義形式にて行うがアクティブラーニングの手法を取り入れ、毎講義ごとにレスポンスシートの提出を求める。 又、学生の習熟度や授業の進行状況によりシラバスを変更する場合がある。						
学生が達成すべき行動目標	①地域社会とコミュニティとのあり方について基礎的事項を理解できる。 ②「タウンマネジメント」について基礎的事項を理解し、説明することができる。 ③「大学の地域交流・貢献（COC+）」について概況を理解し、意見を述べることができる。 ④グループワークにおいて自身の意見を反映させ、発表することができる。						

達成度評価

評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	40	30	30	100	
知識・理解（DP1-1）								
知識・理解（DP1-2）								
知識・理解（DP1-3）								
知識・理解（DP1-4）								
思考・判断（DP2-1）				20			20	
思考・判断（DP2-2）					10		10	
関心・意欲（DP3-1）					10	10	20	
関心・意欲（DP3-2）								
態度(DP4-1)						10	10	
態度(DP4-2)					10	10	20	
態度（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）								
技能・表現（DP5-2）				20			20	
技能・表現（DP5-3）								

具体的な達成の目安

理想的レベル	標準的なレベル
自ら進んで地域社会の課題を把握し，その解決策について提案できる。	地域社会の課題を把握するための手法を身につけ，それを用いて解決策について考えることができる。

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意の説明	講義	シラバスの確認（復習）	60

2	商業まちづくりについて（1） 1970年から1990年代中盤まで	講義	講義内容の復習	60
3	商業まちづくりについて（2） 1990年代中盤以降	講義	講義内容の復習	60
4	商業まちづくりについて（3） 新たな取り組み	講義	講義内容の復習	60
5	タウンマネジメントの定義について	講義	講義内容の復習	60
6	海外の事例研究（1） アメリカの BID と財源	講義	講義内容の復習	60
7	海外の事例研究（2） イギリスの BID と財源	講義	講義内容の復習	60
8	海外の事例研究（3） ドイツの BID と財源	講義	講義内容の復習	60
9	大学の地域交流・貢献（COC+）について	講義	講義内容の復習	60
10	タウンマネジメントの課題について	講義	講義内容の復習	60
11	具体的事例の考察（1） グループワークでの事例検索	演習 （グループワーク）	講義内容の復習	60
12	具体的事例の考察（2） グループワークでの事例決定	演習 （グループワーク）	講義内容の復習	60
13	具体的事例の考察（3） グループワークでの事例考察	演習 （グループワーク）	講義内容の復習	60
14	具体的事例の考察（4） 発表に向けての考察のまとめ	演習 （グループワーク）	講義内容の復習	60
15	グループワーク成果の発表、授業の総括	演習 （グループワーク）	講義内容の復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	日頃から新聞、雑誌、メディア情報等を通して地域・社会の現状に広く関心を寄せること。
テキスト	指定しません。毎回資料を配布します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義全般にかかわるような参考書はなかなか見当たらないのですが，自分の関心のある地域での，行政の「総合計画」や事業紹介のパンフレットなどは重要な資料になると思います。そのほか，用語解説が中心になりますが，参考文献として以下のものを挙げておきます。 ・ 阿部　斎ほか　2005.『地方自治の現代用語　第 2 版』学陽書房 ・ 増田　正ほか編　2011.『地域政策学事典』勁草書房 その他の参考図書については，講義中に紹介します。
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	他の受講学生に迷惑となる行為を慎むこと。 後半はグループワーク形式にて演習を行うため、積極的に参画すること。
達成度評価に関するコメント	その他の項目は授業態度、積極性などで評価します。